

新潟市北区選出 新潟市議会議員 小柳 聡 (こやなぎ さとし)



- ・昭和62年2月11日生(28歳)
- ・平成27年4月12日の新潟市議会議員選挙で初当選

〈議会活動〉・6、9、12月定例議会にて一般質問
 ・市民厚生常任委員会に所属
 ・人口減少対策調査特別委員会に所属

ご挨拶

12月21日に12月定例議会が閉会しました。今回も志願し、6月、9月定例議会に続き三度目の一般質問をしました。

多くの議員がBRT問題を取り上げていた中、私は北区役所移転の問題を取り上げました。私自身、区民説明会に4度参加しましたが、「誰が最終決定するのか」との質問をよく耳にしました。その際、市長は「市長と議会」と答えています。

市長が決定する際に、しっかり「地域の生の声」を踏まえて判断してもらう必要があります。その生の声を届けるために、地域の代弁者として、議会で議論しました。

今後も皆さまの声を届けるため活動して参ります。今後ともご支援、ご協力賜りますよう、どうぞよろしくお願い致します。

新潟市議会議員 小柳 聡

三度目の一般質問

今回は初めて、「一問一答方式」*で質問を行いました。市長をはじめ執行部の答弁に対して、その場で切り返しを考える一問一答の難しさを改めて実感しました。

一問一答を得意としている先輩議員がいますので、しっかりと学び、次回はより核心をついた質問で議論を活発化させたいと思います。

〈質問したテーマ〉・北区役所移転
 ・新潟市の財産経営
 ・公民連携(民間活力の活用)
 ・広報戦略

「一問一答方式とは？」

議会の質問は、(1)一括(2)分割(3)一問一答の3方式があります。

- (1)一括…質問をまとめて行い、その後答弁もまとめてもらう方式
- (2)分割…テーマごとに分けて質問、答弁をする方式
- (3)一問一答…質問1つに対して、その都度答弁をもらう方式
 一問一答にはやりとりがわかりやすかったり、筋書きのない活発な議論が交わされるなどのメリットがあります。

議員活動の1コマ



新潟東港での大規模津波防災総合訓練に参加



広域観光の先進的事例である魚沼地域の雪国観光圏について勉強



全国若手市議会議員の会の研修に参加



議会での席は市長の向かい。新人らしく常に全力投球です